

中坪の歩み

発行
中坪の歩み
研究委員会

過去の
「中坪の歩み」



中坪区が全戸参加で防災訓練 災害発生時 まず安否確認を！

中坪区の防災訓練が、8月30日の日曜日に実施されました。今回は、コロナ禍以来実施されていなかった全戸参加



消火栓の使い方を学ぶ区民の皆さん

です。今回は、ここを重点とした訓練となりました。午前6時半、情報班の合図で訓練が開始され、常会毎に決めた方法で安否確認が行われ、常会長による安否確認の報告が公民館にてなされました。

「訓練は本番のように」という言葉があります。万が一災害発生の際には、今回の訓練のように、まずは安否確認ができるように意識していただけたらと思います。

その後、消防団による消火栓の使い方説明会が行われました。計25名ほど、常会長や消火班の他に、多くの区民の皆さまにも参加いただき、ありがとうございました。

今回は無事訓練を終えることができましたが、できれば災害発生がないことを切に願っています。

（区長 ○○○○）

イーナちゃん駅伝カーニバル 手良チーム 結団式で士気高める

イーナちゃん駅伝カーニバル2026（第44回市民駅伝）手良チーム結団式が9月5日（土）「てらとびあ」にて、出場選手、保護者、役員を含め35人ほどが集まり開催されました。

チーム編成は昨年同様で子どもの部（1チーム5人）2チームが出場します。

中坪からの選手は次の3名です。（敬称略）

・保育園児

○○○○（○○○）

・小学校低学年男子

○○○○（○○○）

・小学校高学年女子

○○○○（○○○）

9月19日、26日に小学校校庭で、10月3日、10日に陸上競技場で練習をして10月12日の本番に臨みます。

結団式の中で「一人ひとりが全力を出し切り、タスキをつなげよう」と話があ

現在、私たち「中坪千本桜の会」では、植樹した苗木がより大きく育つよう「下刈り」を行っております。



酷暑の中の下刈り作業

植樹は1年物の苗木を植樹した為、「下刈り」は3年〜5年間行う事が推奨さ

農地・水「手良の会」中坪支部 第2回一斉草刈り作業実施



長い草丈に苦労しながらの草刈

8月23日（日）午前8時から、今年度第2回目の一斉草刈りを行いました。毎回、区民の皆さまのご協力をいただき当日も70名弱での作業となりました。（当日は晴天である事を希望し、予備日を設けずに行いましたので役員一同天気予報を気にした1週間でありました）当日はおかげさまで天候に恵まれ実施することができました。

草丈が伸びている所もあり苦労された常会もあったと思います。予定としては午前8時から10時までの2時間を予定しておりましたが、今回は予定していた場所のうち、若干残った部分もありましたが、水路の脇ではなく邪魔になる場所でもなかったため、途中ではありましたが今回は完了としました。各ブロックの作業配分等の見直しも含め、今後の検討課題としたいと考えております。

（中坪公民館 主事）

中坪千本桜の会 植樹後の下刈り作業実施中

夏場の作業のため、皆汗だくになるので、休憩を取りながら水分補給もしながら行っております。

今年度は昨年の実績をもとに1590時間ほどを予定しているのですが、毎回、

7名〜10名の協力をいただき進めています。植樹種はモミジ・クヌギ・ヤマザクラです。目印に「竹杭」を刺してあるのですが雑木の

困るでいるの

が出ている場合もあり、分りづらく特に注意しながらの作業となっています。それでも、「切っちゃった」の声を聞く事もあるのが現状です。

現在、行っている「下刈り」の県の補助金対象となるのが、今年を含めて3年しかありません。苗木の成長具合を見ながら今後どのようにしていくのか判断する時期にきており、今後に向けての検討をしなければならぬと考えております。（中坪千本桜の会 S・M）

（農地・水「手良の会」中坪支部長）

水田守った地域の絆 水害に対処した区民の善意と行動力に感謝

7月25日、8月15日の水害により、地域の農業用水に大量の土砂が堆積し、水田への取水が完全に途絶えるという深刻な事態が発生しました。農作物の生育にとって不可欠な時期の断水は、農家にとって死活問題であり、一刻を争う状況でした。



緊急事態を知り 現場に駆け付け作業する区民の皆さん

こうした危機に対し、手を差し伸べてくれたのが○○○さん親子をはじめとする地元住民の皆さん、○○部長以下消防団員8名の皆さん、水利委員をはじめ各役員の皆さんです。ポンプ設備を活用し注水作業をしてくれた消防団員、重機による土砂撤去、ジョレン、スコップ等、人力による撤去作業により、無事に水田へ必要な水を供給することができました。

土砂の撤去にはまだ時間を要するものの、地元住民、消防団員の力強い支援のおかげで最悪の事態を免れることができました。地域を守るため

中坪の風

手良土地改良区の理事長に就任させていただいたのが5年前の8月。その2か月後の10月に市内の各土地改良区の理事長で関東農政局、農林水産省、衆議院議員、参議院議員への農業関係の予算確保の陳情にまいりました。

何もわからないまま各理事長たちと一緒に名刺交換をし、ひたすらお願いするという活動です。この活動は白鳥前市長初当選の年から伊那土地改良区の平沢前理事長の発案で毎年行っている活動で現在は7月に行っています。大勢でお願いに行くことは予算確保の意味でも効果はあるそうです。

予算確保の事例で、2年前に沢岡地区水田の暗渠排水の件で上伊那地域振興局（旧上伊那地方事務所）や市役所へ何回もお願いに行き、ようやく今年の秋の工事での実施が決まりました。

土地改良区にもいろいろ問題がありますが、あきらめないで市や県にお願いし続けることの大切さを学んだ一件でした。（S）

訂正

月刊「中坪の歩み」355号の「田舎暮らしサポーター委員会の活動状況」記事に「1・1歳以上の」とありますが「11歳以上の」の間違いでした。訂正いたします。

に尽力してくださった区民の皆さん、消防団員皆さんの迅速な対応と温かい助け合いに、心より感謝申し上げます。（総務区長）

